

## ミクロネシア情勢（2015年7月分）

### **1 内政**

#### ミクロネシア連邦大統領・副大統領・連邦議員合同就任式が開催される

10日、パリキールの連邦政府・議会庁舎に設けられた特設会場でクリスチャン大統領、ジョージ副大統領及び連邦議員の合同就任式が行われた。就任演説の中でクリスチャン大統領は、「自分（クリスチャン）はクリスチャン（キリスト教徒）であり続ける」とユーモアを交えながら、ミクロネシア国民に団結の重要性を強調するとともに一つの国、一つの国民、一つの夢のため協力する必要があることを呼びかけた。

### **2 外交**

#### パシフィック・パートナーシップ 2015 を記念したジャパンナイトの開催

2日、パシフィック・パートナーシップ 2015 を祝して大使館公邸にてジャパンナイトが開催された。ローゼン米国大使、メイヤー艦長、ディエル米国海軍大佐の他、多くのパシフィック・パートナーシップの参加者が出席した。坂井大使はスピーチで、医療活動や土木工事などの多くの活動及び貢献に感謝の意を表した。会場にはパシフィック・パートナーシップ 2015 の参加国4国の旗が飾られ、米国海軍隊員のバンドによる生演奏も披露されるなど、終始和やかな雰囲気となった。

#### パシフィック・パートナーシップ 2015 閉会式及びアメリカ独立式典

4日、ポンペイ州ソフトボール場のスパニッシュウォール広場にて、パシフィック・パートナーシップ 2015 閉会式及びアメリカ独立記念式典が執り行われた。当地米国大使及び館員をはじめ、クリスチャン大統領、米国海軍キャプテン、その他要人の祝辞の後、ミクロネシア4州のダンサーによる伝統舞踊が披露された。同式典には坂井大使夫妻と大使館員が参加した。

#### 古屋圭司特派大使、ミクロネシア連邦合同就任式に出席

安倍総理大臣から特派大使として任命された日本・ミクロネシア連邦友好議員連盟会長の古屋圭司衆議院議員は、10日、正副大統領及び連邦議員合同就任式典に参加した。同合同就任式典前夜に日本大使公邸で催されたジャパンナイトで古屋特派大使は、「ミクロネシア連邦と日本は強い信頼・友好関係で結ばれており、特に、水産分野においてミクロネシア連邦は大切な国であること、日本との人材交流を倍増させ、ミクロネシア連邦において多くの親日及び知日派を育成していくことは太平洋・島サミットで打ち出された目標の一つであるこ

と」を挨拶の中で述べた。

また、古屋特派大使は、カセレリエ・プレス紙との個別インタビューにおいて、「8日、4億円の日本政府の無償資金協力の署名が当地で執り行われ、また、太平洋・島サミットにおいて安倍総理大臣が、太平洋島嶼地域の気候変動及び防災事業について550億円の支援を公表した」ことについて触れつつ、防災分野について先達の歴史上の経験に学ぶことの大切さ、及び、日本の漁船の拿捕事件について関し、日本漁船の操業について両国を利する関係を構築することが肝要であるとの点について、クリスチャン大統領やシミナ連邦議会議長との別途の意見交換の場で触れたことを明らかにした。

### 大統領合同就任式典を記念しジャパンナイトが開催される

坂井大使は当地の正副大統領及び連邦議員合同就任式典前夜（9日）に、大使公邸にてジャパンナイトを催した。ピーター・クリスチャン大統領、ヨシヲ・ジョージ副大統領、ロヤック・マーシャル諸島大統領、ウェズリー・シミナ連邦議会議長、ウルスマル連邦議員、ガンギヤン・ヤップ州知事、エリモ・チューク州知事、ローゼン当地米国大使、在マーシャル諸島共和国・アームブラスター在マーシャル諸島共和国米国大使など多くの来客が参加した。

### 111人の漁業捕虜がベトナムへ送還される

2014年11月から国際移住機関（IOM）の保護を受けながらミクロネシア連邦に滞在していた111人の違法操業で拿捕されたベトナム漁船乗組員は、8ヶ月以上に及ぶ交渉の末、本国ベトナムへ7日送還された。今回の送還は豪州政府による渡航費用の支援により実現したもの。これらの乗組員の中でパスポートや身分証明書を所持していたものはわずかであり、この他に2人の乗組員がヤップ州の刑務所で服役中である。ベトナム漁船は違法漁業船としてヤップ州及びポンペイ州政府により没収された。（8月3日報道）

## **3 経 済**

### ユージン・パンゲリナ氏の NORMA 事務局長就任

ユージン・パンゲリナ氏が国家海洋資源管理局（NORMA）の新しい事務局長に就任した。同氏は26年間NORMAに勤務した経験を有し、今後は事務局長として大統領と議会の承認を得た5人の運営委員の下で、FSM排他的経済水域の海洋資源や活動を管理するNORMAの運営に当たることとなる。

## **4 経済協力**

### アワック小学校で防波堤設置の起工式が行われる

1日、アワック小学校の新しい防波堤が完成した。本プロジェクトは欧州連合によって資金調達され、国際移住機関（IOM）、ポンペイ州自然保護協会（CSP）とポンペイ州気候変動対策委員会（PCCOC）が施行したもの。アワック小学校は環礁に囲まれた浅い海側に位置しており、海面上昇や海岸浸食の危険性が高いことから、防波堤の設置を要請していた。

### ミクロネシア連邦に対する無償資金協力に関する交換公文の署名

8日、日本国大使公邸において、坂井大使とローリン・S・ロバート外務大臣との間で、以下2件の無償資金協力（供与額計4億円）に関する交換公文の署名が行われた。

① 我が国の防災機材を活用した無償資金協力（供与額3億円）

我が国で生産される防災分野の機材・製品等を、自然災害に対して脆弱なミクロネシアへ供与することにより、同国の被災地復興及び社会経済開発を支援するとともに、日本製の機材・製品等に対する認知度の向上を図り、継続的な需要を創出し、日本経済の活性化に貢献するもの。

② 気候変動への適応のための無償資金協力（供与額1億円）

気候変動への適応を図るために必要な資機材をミクロネシアに供与するものであり、これにより同国の経済社会開発に寄与することが期待される。

これらの無償資金協力は、5月22日及び23日に福島県いわき市において開催された第7回太平洋・島サミットにおいて、我が国政府が支援を表明した重点分野である「防災」及び「気候変動」への対策に資する協力として実施するもの。

### 日本の大進漁業（株）がミクロネシア短期大学漁業海事専門校卒業生4名を採用

日本の漁業関係マンニング会社大進漁業がミクロネシア短期大学漁業海事専門校卒業生4名を採用。同社は来年も卒業生に対して採用面接を行う旨語っている。（14日報道）

### 新JICAボランティア隊員がFSMに到着

16日、ミクロネシア連邦外務省は9名の新JICAボランティア隊員の到着を歓迎した。JICAは1989年よりFSMへのボランティア派遣を行っており、隊員の活動内容は教育、保健衛生、環境、農業、漁業、観光等多岐にわたる。新隊員の到着により、現在、13名のシニアボランティアと11名の青年ボランティア計24名がFSMで活動している。隊員の多くは2年の任期で、地域住民の生活向上

を主目的として活動する。

新隊員はシニアボランティア (SV) 6 名と青年ボランティア 3 名から成り、職種と活動先は以下の通り。ヤップ州：SV 片山正敏 (Mr. Masatoshi Katayama) ・廃棄物処理・公共事業運輸局，藤原友昭 (Mr. Tomoaki Fujiwara) 小学校教育・ガネライ小学校， チューク州：SV 赤石恵理子 (Ms. Eriko Akaishi) ・日本語教育・ザビエル高校， ポンペイ州：SV 田中壽雄 (Mr. Kazuo Tanaka) 水産物加工・ミクロネシア短期大学共同研究/普及， SV 松本英知 (Mr. Hidetomo Matsumoto) 病院運営管理・ポンペイ州立病院， SV 和田祥子 (Ms. Yoshiko Wada) 家政/生活改善・NGO アイランドフードコミュニティーポンペイ， 梅原勇希 (Mr. Yuki Umehara) 環境教育・ポンペイ州環境保護局， 鈴木あゆみ (Ms. Ayumi Suzuki) 小学校教育・ネッチ小学校， コスラエ州：SV 名本忠治 (Mr. Tadaharu Namoto) 道路・公共事業局。

#### EPA と PWMS 間におけるエクスカベータの利用に関する合意書への署名

24 日， ポンペイ州環境保護局 (EPA) とポンペイ州廃棄物管理サービス (PWMS) との間でエクスカベータの利用に関する合意書 (MOU) の署名が行われた。エクスカベータは日本政府によるノンプロ無償資金協力により供与されるもので， MOU に基づいてポンペイ州のゴミ処分場で EPA と PWMS の協力の下に運用されることとなる。

署名式では， 坂井大使が FSM での廃棄物処理の重要性を強調するとともに， 我が国が展開している廃棄物管理プロジェクトを紹介した。また， EPA 及び PWMS の代表者は供与されたエクスカベータを活用して廃棄物システムの継続的な改善に努力する旨述べた。

#### USAID と IOM がチューク州 PUC にジェネレーターを供与

29 日， USAID と国際移住機関 (IOM) が台風メイサック被害対策として 2 台のジェネレーターをチューク州公益事業体 (CPUC) に設置された。CPUC は政府建物， 住宅， 商業用建物など計 1860 世帯への電気供給を行担っている。CPUC による台風メイサック被害対策として， USAID と IOM はこの他に設備の修繕作業も行う。

#### 豪州大使館， ポンペイ・フィットネス・センター改修を支援

ポンペイの Nan Peper 地区の旧フィットネス・センターの改修プロジェクト第一フェーズに， 当地豪州大使館は 100, 000 米ドルを支援。改修によって， ロッカールーム， 会議室のほか， ボクシング用も含めた新しい機具・機材を導入し， スポーツ・健康増進プログラムの実行を後押ししていくもの。(15 日報道)

## 人身売買の犠牲者保護に関して、米国が FSM に補助金の供与

米国人身売買監視対策室 (Office to Monitor and Combat Trafficking in Persons) は国際移住機関 (IOM) を通じて、人身売買への取り締まり強化を図るための補助金を FSM に供与した。この補助金により人身売買に関する意識の向上と法律の強化をはかり、FSM 内の人身売買の犠牲者に対する効果的な保護を目指していく。(20 日報道)

## **5 その他**

### ミクロネシア重量挙げ選手が Pacific Games で金メダル獲得

6 日パプアニューギニアの首都ポートモレスビーで開催された Pacific Games にて、ミクロネシア代表の重量挙げ選手 Manuel Minginfel (ヤップ州出身) が金メダルを獲得した。

今回で 5 回目の Pacific Game 参加となる Minginfel 選手は、69 キロ級の競技に参加し、オーストラリア、ニュージーランド、サモア、フィジー、パプアニューギニア、キリバス、グアム、ツバル、ナウル代表選手 11 名の頂点に立った。Minginfel 選手はスナッチと合計重量で金メダルを 2 つ、クリーン&ジャークで銀メダルを獲得。

37 歳の Minginfel 選手は本大会重量挙げ参加選手の中で最高年齢であった。

Minginfel 選手は 2016 年開催のリオデジャネイロオリンピックに向けた選手強化トレーニングに参加するための奨学金を与えられており、オリンピックでの活躍が期待されている。

### ミクロネシア自然体験交流のため日本人青少年等が来訪

22 日、日本全国から集まった小学 5 年生から高校 1 年生までの青少年 19 名が、当地での自然体験交流に参加するためにポンペイを訪れた。

1 週間の滞在期間中子供達は、ナンマドール遺跡やケプロイの滝、ナーラップ島自然体験等の多彩なプログラムに参加した。また当地のホストファミリー宅にホームステイをするなど、当地の文化に触れる貴重な経験をした。

また、日本大使公邸を訪問し、ミクロネシア人の気質や大使館の役割について坂井大使から説明を受けたほか、当地のボランティアから JICA の役割について話を聞き、日本とミクロネシアとの関わりについて学ぶ機会を得た。

当プログラムは、国立青少年教育機構下に設置された「子どもゆめ基金」によって実施されており、本年 6 月中旬にはミクロネシア 4 州の子ども達が日本を訪れ幅広い交流体験プログラムに参加した。

(了)